



残暑が厳しいものの、朝夕の涼しい風に秋の気配が感じられるようになりました。季節の変わり目は夏の疲れがでやすい時期です。たっぷり睡眠をとるなどして体調を崩さないように気をつけましょう。

9月9日は救急の日です。「救急」とは急病や怪我など緊急を要する人に応急手当をすることです。子どもは、急な体調不良や怪我がよくあります。もしもの時に備えて、救急用品の準備や対処方法を知っておきましょう。

やけどをしてしまった時

すぐに10分以上冷やしましょう。刺激を避けるため容器に溜めた水で冷やします。水道水やシャワーを直接当てないようにしましょう。服の上から熱湯等がかかった場合は脱がさず服の上から冷やしてください。また、市販の冷却シートはやけどの手当には使えません。

【受診が必要な場合】

- 全身の広い範囲や顔などの火傷の場合はすぐに救急車を呼びましょう。
- やけどの範囲が片足、片腕以上の広範囲にわたる場合は救急車を呼ぶか、至急受診しましょう。
- やけどの範囲が手のひら以上の場合や水膨れは潰さないようにして、病院を受診しましょう。

下痢の時

下痢の時は脱水症状に気を付けましょう。湯冷ましやお茶・経口補水液などで少量ずつ水分補給します。食事は下痢が落ち着いてから消化に良い物を少しずつ食べましょう。発熱・嘔吐・下痢を繰り返す、便に血が混じる等、他の症状もある場合は受診しましょう。

嘔吐の時

嘔吐の時は吐いた物が気管に詰まらないように上半身を起こすか、横向きになる事が大切です。吐き気が治まらない時は、背中をさすってあげましょう。嫌な臭いが吐き気を誘わないよう、口をすすぎます。落ち着いてきたら、少量ずつお茶や湯冷ましで水分補給を行います。発熱、下痢、嘔吐を繰り返す、吐物に血液が混じるなど、他の症状もある場合や水分補給が全くできない場合は受診しましょう。



救急箱の中身、 チェックしてますか？

救急箱の中身に決まりはありません。普段使うものを、清潔な入れ物に入れておけばOKです。ただし、滅菌ガーゼや薬は使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。**1年に1度はチェックをしましょう。**

絆創膏

ケガをした部位に合わせて選べるよう、形やサイズをいくつか用意しておくとう便利です



体温計



ガーゼと医療用テープ
傷口を保護したり、薬を塗った上にかぶせたりして使います。個包装の滅菌タイプが使いやすいでしょう



はさみ

救急箱専用にしておくとう衛生的で安心です



常備薬

虫よけ、かゆみ止め、化膿止めなど



毛抜きやピンセット

皮膚に刺さったトゲを抜いたりするのに使います





八幡市ファミリーサポートセンター



仕事で保育園の送迎が間に合わない…

こんなお悩みありませんか？

子どもの送迎をし、その後預かってほしい。

たまのリフレッシュ、誰か子どもと遊んでほしいなあ…



ファミリーサポートセンターは、地域において育児の援助を行いたい方と援助を受けたい方を会員とし、子育てを助け合う有償ボランティアの会員組織です。

援助活動の流れ

① まずはセンターにて会員登録をします

援助をしたい人【サポート会員】

八幡市に在住する自宅で育児の援助ができる20歳以上の方
センターが行う講習会を受講した方

援助を受けたい人【利用会員】

八幡市に在住する生後6カ月～小学5年生の子育てをしている方

② 依頼したい内容をセンターへ連絡します

依頼は来所でも電話でも可能です。目安として、一週間前までにご連絡ください。

- いつ
- どこで
- どんなサポートを受けたいか等



利用会員とお子さん、サポート会員とセンターの担当者で事前に打ち合わせてから活動します。活動が円滑に進められるよう十分打ち合わせを行います。

③ サポート会員が決まったら事前に顔合わせをします

利用料

平日の7時から20時は
1時間700円
土日祝、及び上記以外の時間は
1時間800円

④ 援助活動を実施します

援助内容は主にお子さんの預かりや送迎などです。

⑤ 援助終了後、利用料の受け渡しをします

お問い合わせは、来所または電話かメールでお願いいたします

～会員さん募集中～

ファミリーサポートセンターでは、会員さんを募集しています。お気軽にお問い合わせください！

八幡市ファミリーサポートセンター

住所：八幡市男山指月3-11
 受付時間：平日9時から12時 13時から16時
 電話・FAX：075-971-1109
 ✉：family-sc@mb.city.yawata.kyoto.jp